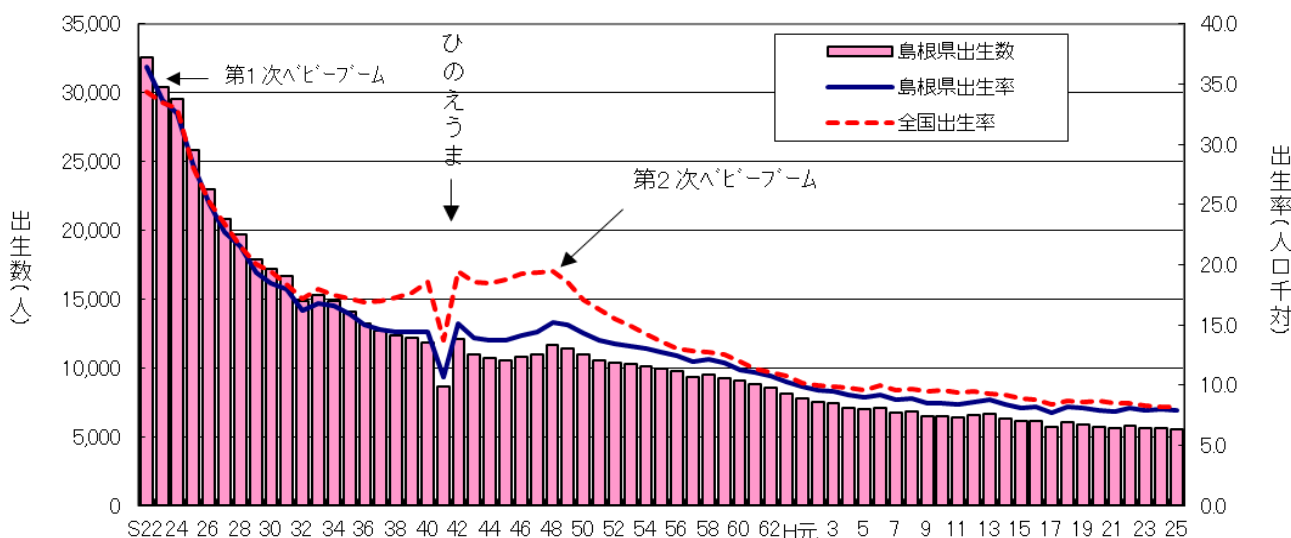


2 出生

(1) 出生数・出生率

平成 25 年の出生数は 5,534 人で、前年の 5,585 人から 51 人減少し、出生（人口千対）は 7.9（全国第 25 位）で、前年の 8.0 を 0.1 下回った。出生数、出生率ともに昭和 46～49 年の第 2 次ベビーブーム以降、ゆるやかな減少傾向が続いている（図 1）。

図 1 出生数・出生率（人口千対）の年次推移



出生数を母の年齢（5 歳階級）別にみると、20～24 歳、25～29 歳、35～39 歳、40～44 歳では前年より減少したものの、30～34 歳では増加した（表 2）。

表 2 母の年齢（5 歳階級）別にみた出生数

母の年齢	出生数				対前年増減		
	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	23年－22年	24年－23年	25年－24年
総数	5,756	5,582	5,585	5,534	△ 174	3	△ 51
～14歳	-	1	-	-	1	△ 1	-
15～19	71	62	58	62	△ 9	△ 4	4
20～24	691	654	600	524	△ 37	△ 54	△ 76
25～29	1,795	1,672	1,687	1,681	△ 123	15	△ 6
30～34	1,986	1,958	1,906	1,961	△ 28	△ 52	55
35～39	1,049	1,075	1,124	1,113	26	49	△ 11
40～44	162	160	208	190	△ 2	48	△ 18
45～49	2	-	2	3	△ 2	2	1
50歳以上	-	-	-	-	-	-	-

出生順位別にみると、平成 25 年は第 1 子、第 3 子以上が前年より減少し、第 2 子以下で増加した（表 3）。

表 3 出生順位別にみた出生数の年次推移

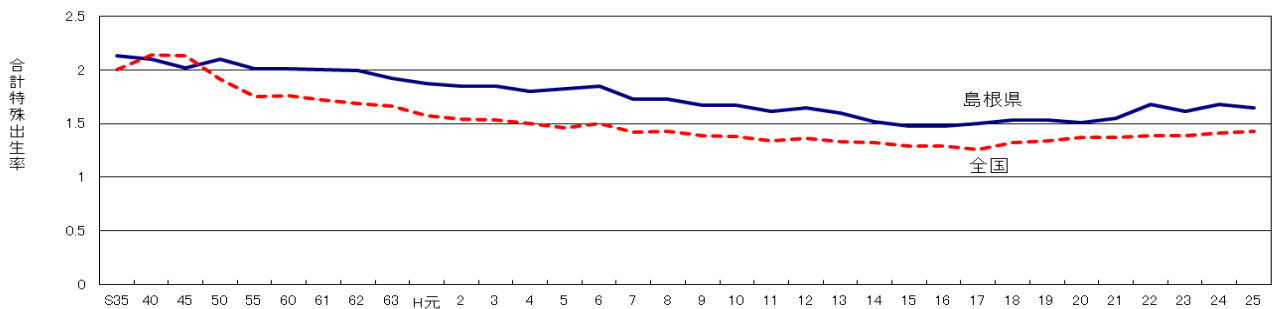
出生順位	出生数				対前年増減		
	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	23年－22年	24年－23年	25年－24年
総数	5,756	5,582	5,585	5,534	△ 174	3	△ 51
第1子	2,408	2,376	2,379	2,331	△ 32	3	△ 48
第2子	2,139	1,938	1,978	1,981	△ 201	40	3
第3子以上	1,209	1,268	1,228	1,222	59	△ 40	△ 6

(2) 合計特殊出生率

平成 25 年の合計特殊出生率は 1.65 であった。全国と比較すると、昭和 50 年以降一貫して島根県が上回っており、平成 25 年の順位は全国第 3 位である(図 2)。

なお、合計特殊出生率の算定の基礎となる年齢 5 歳階級別女子人口については、平成 22 年などの国勢調査年は日本人人口を、その他の年は総務省推計人口（総人口）を使用しているため、数値の比較においては注意を要する。

図 2 合計特殊出生率の年次推移



年齢（5歳階級）別合計特殊出生率の昭和45年以降の推移を見ると、年により多少の増減があるものの、概ね20歳代では低下傾向、30歳代では上昇傾向にある。平成25年は20～24歳で低下し、25～44歳の各階級で上昇した。（図3）。

図3 合計特殊出生率の年次推移【年齢階級別内訳】

